



みなさんは将来地元に住みたいですか。それとも都会へ出たいですか。

## 住んで楽しいまちづくり!

9月12日は鳥取県民の日です。これにちなんで、鳥取で活躍されている方のお話を伺い、生徒の皆さんには鳥取の魅力を見直し、これからの生き方を考える機会にして欲しいと願い、米子市長の伊木隆司様に本日御講演いただきました。

鳥取県は一度島根県に合併されています。その後、鳥取に住む方々が鳥取県の復活を願って運動し、明治12年9月12日に鳥取県が再度設置されました。伊木市長から「鳥取県の復活に対する当時の人の思いや努力を想像してください。地元の人に地域を残したいという強い思いがなければ地域を存続させることが難しいのは事実です。」と投げかけられました。

続けて伊木市長は「生きて楽しむことを大事にするまちづくりをしたい」と話され、毎日不満を感じている人がいるとするなら、「人のせいにしてはいつまでたっても面白くならない。自らどうしたら面白くなるのか考えて実行することが大切」とアドバイスをいただきました。

この後、伊木市長から地元の様々な良いところや特筆すべき事実をたくさん伺い、地元の良さを再発見しました。地元に住んでいても知らないことがお話の中にたくさんあったことと思います。

伊木市長は大学からの10年間で東京で過ごされた後、米子へ帰っていらっしやいました。楽しい東京生活ではあったものの、米子に帰ってきて良かったとふり返られました。地元で生活するのか、地元を離れるのか、人それぞれ判断基準は違ふとしながら、「自分の住む地域のことをできるだけたくさん知ってから判断すること」がポイントであるとアドバイスがありました。そして「地元を残すことは大変なことであり、まずは地元の良いところを知り、やがて主力となったときに自分たちの手で地域を守っていく、地域を残していくと思ってくれたら嬉しい。」と高校生への期待を述べられました。

最後に生徒会長が謝辞の中で、「私たち一人ひとりがこれから地元に対してどんな貢献ができるのか考える機会になった」と感想を述べました。そして、「自分たちがやってやるという気持ちを持ってこれからも頑張っていきたい」と決意表明をしてくれました。

お忙しい中、生徒たちへ貴重なお話をいただきました米子市長伊木隆司様には感謝申し上げます。そして、伊木市長と共に現代の高校生たちが住んで楽しい明日の鳥取を築くことを期待します!

校長 松川 明義

【行事予定】

- 18日(水)：機械科 ゴミストッカー贈呈式 朝日町
- 20日(金)：建設科 バンチ贈呈式 かもめ幼稚園
- 26日(木)～28日(土)：学校祭
- 週末の大会 テニス部

